

令和4年度 課の事業一覧

組織名	交通局 総務経営課・営業推進課		重点項目	・公共交通ネットワークの維持（市営路線バスの維持）								
	課長名	甲山 乙也・國武 健二		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	2,353,200 千円	目安の金額	課長	—	人	
						令和3年度当初予算額(B)	2,174,400 千円		人件費	係長	—	人
						増減額(A-B)	178,800 千円			職員	—	人
					—	千円						

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				第3次北九州市営バス事業経営計画	<p>○取組期間 令和3年度から令和7年度までの5カ年</p> <p>○計画の基本的な考え方 (1) 安全で安定した交通サービスの提供 (2) 誰もが安心して快適に移動できるサービスの提供 (3) 経営基盤の強化</p> <p>○計画目標 お客様に安全・安心、快適な交通サービスを提供するとともに、収益的収支均衡を目指す。</p> <p>○評価・検証 取組開始3年後に、期間中の取組内容及び結果の評価・検証を行う。運用に当たっては、社会経済情勢の変動等に対応して、随時必要な見直しを行う。</p>	<p>(1) 安全で安定した交通サービスの提供 ・運転者不足解消のため、小型バス車両における普通二種免許を保持する運転者の確保や求人情報誌などを活用した効果的な広報により、バス運転者の確保に努める。 ・バス車両を更新する際、利用者が少ない路線には、マイクロバスを導入するなど、計画的な車両更新を行う。 ・「AIを活用した高齢ドライバー見守りシステム」を活用し、一層の安全運行に努める。</p> <p>(2) 誰もが安心して快適に移動できるサービスの提供 ・ICカード「ニモカ」を利用して、乗降データを分析し、ダイヤの改正等に活用する。また、「福祉優待乗車証」のICカード化を実施する。 ・利便性向上に向けた西鉄バス北九州との協力体制を強化する。 ・お買い物バスの利用拡大のために、地域の意見を踏まえ、路線や運行時刻などの見直しを行う。 ・乗務員の健康管理や毎日の車内消毒など、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を継続する。</p> <p>(3) 経営基盤の強化 ・利用実態に即したダイヤ改正を実施する。 ・公共交通を維持するための地域への働きかけを行う。 ・貸切事業・受託事業の営業を継続的に取り組み、附帯事業の増収を図るとともに、公営バス事業者としての役割を踏まえ、市の施策への協力を継続して進めていく。</p>	2,174,400	2,353,200	178,800